

# Cisco CallManager での MGCP ゲートウェイの モニタ、リセット、および削除

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[実行する作業](#)

[タスク 1: MGCP ゲートウェイを監視して下さい](#)

[パフォーマンスモニタを設定し、使用して下さい \( Cisco CallManager Version 3.2 およびそれ以前のために \)](#)

[パフォーマンスモニタを設定し、使用して下さい \( Cisco CallManagerバージョン 4.0 およびそれ以降のために \)](#)

[Cisco AST が付いている MGCP ゲートウェイを監視して下さい](#)

[Cisco Unified CallManager サービスリテリ 実時間監視 ツールの MGCP ゲートウェイを監視して下さい](#)

[タスク 2: MGCP ゲートウェイのリセット](#)

[タスク 3: MGCP ゲートウェイを削除して下さい](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル ( MGCP ) ゲートウェイでモニタおよび報告するために、Performance Monitor ( PM ) を設定する方法について説明します。また、このドキュメントでは、MGCP ゲートウェイをリセットする方法、必要に応じて、MGCP ゲートウェイを削除する方法を説明します。

注: またこれらの変数を監察するのに Cisco 管理 サービスリテリ ツール ( AST ) を使用できません。Webブラウザのおよび Windows Terminal Services のための必要のない AST を起動できます。AST プロシージャおよびウィンドウに関しては、[Cisco AST が付いているモニタ MGCP ゲートウェイ](#)を参照して下さい。

この資料は設定される 6 資料の Part 6 あります:

1. [IOS MGCP ゲートウェイ \( アナログ FXO、FXS ポート \) を使用した Cisco CallManager の設定](#)
2. [Cisco IOS MGCP ゲートウェイの設定](#)
3. [Cisco CallManager サーバ上の MGCP ゲートウェイおよび FXO/FXS ポートの設定](#)
4. [Cisco IOS MGCP ゲートウェイの検証およびトラブルシューティング](#)
5. [デバッグ MGCP パケットの例](#)

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

この設定は下記のものでテストされました:

- Cisco CallManager 3.0、3.1、3.2、および 4.0
- Cisco IOS® ソフトウェアのさまざまなバージョン 12.2 イメージ
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(4)T1

スクリーンショットおよび Cisco IOS コンフィギュレーションはこのソフトウェア、ハードウェアおよび他の機器の使用とキャプチャされました:

- 1 \* Cisco VG200/2 X Foreign Exchange Station ( FXS)/2 X 外国為替事務所 ( FXO)/1 FastEthernet 10/100 のポート; Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(5)T
- 1 \* Media Convergence Server ( MCS ) 7835 で動作する Cisco Unified CallManager 3.0(5a)
- 1 \* Cisco Unified CallManager 4.0 MCS 7835 で実行する
- アナログ電話機 X 2
- Cisco 7960 IP Phone X 2

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

Cisco Unified CallManager と Cisco IOS ゲートウェイ間の互換性に関するソフトウェア バージョン 推奨事項に関する詳細については [Cisco Unified CallManager Compatibility Matrix](#) を参照して下さい。

**注:** `ccm-manager` コマンド機能拡張が理由で Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.2(11)T またはそれ以降を使用して下さい。 `ccm-manager` コマンドは Cisco 2600 および 3600 を含むすべてのルータの Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(5)xm か後の方で VG200 をおよび必要とします。

ルータが Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(3)T またはそれ以降を実行する場合 Cisco 2600 および 3600 ルータ サポート MGCP。必要なリリースとバージョンは、有効にする必要のある機能によって異なります。Cisco CallManager サーバで、バージョン 3.0(5)a 以降を実行している必要があります。ルータの設定は、すべてのタイプのルータで同一です。Cisco CallManager の設定も、すべてのタイプのルータで同一です。

VG200 は Cisco IOS ソフトウェア Release 12.1(5)xm1 とそれ以降によってサポートされます。必要なリリースとバージョンは、有効にする必要のある機能によって異なります。VG200 が Cisco Unified CallManager の以前のリリースでサポートされるが、バージョン 3.0(5)a またはそれ以降を使用して下さい。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 実行する作業

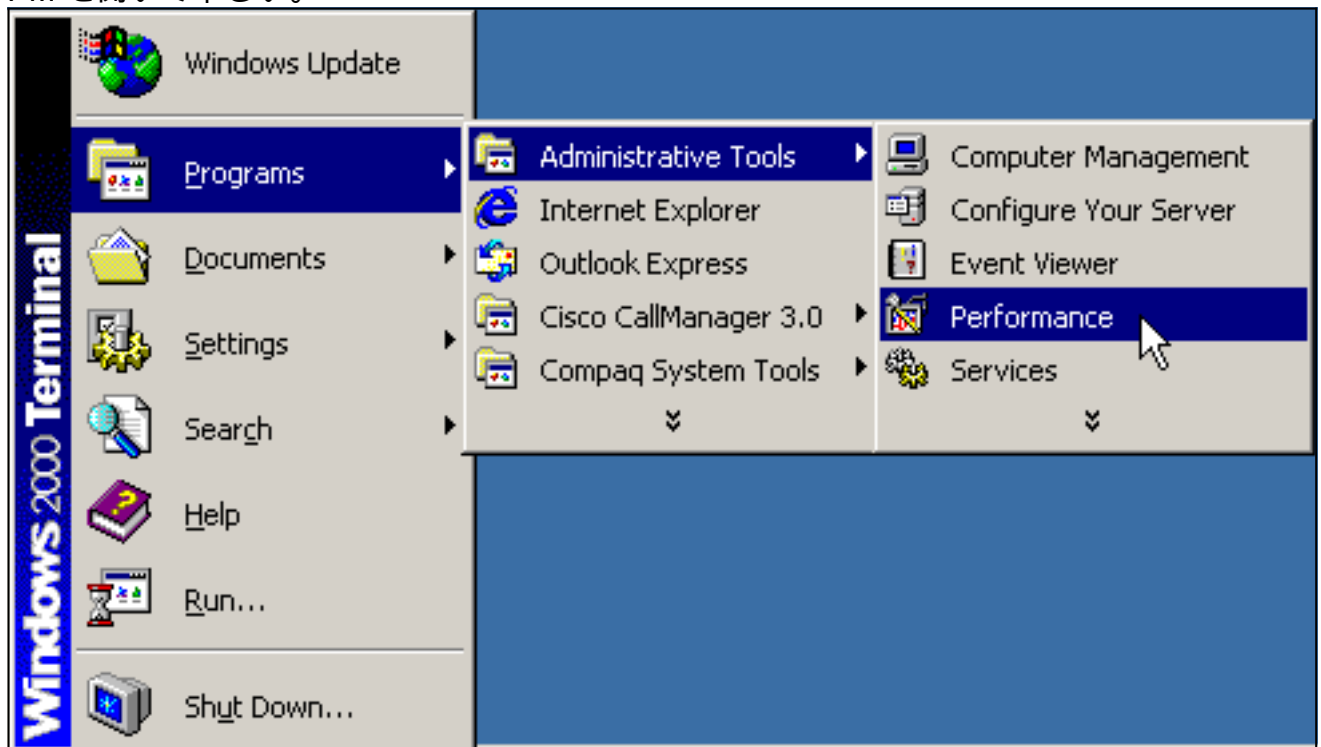
- [タスク 1: MGCP ゲートウェイを監視して下さいパフォーマンスモニタを設定し、使用して下さい \( Cisco CallManager Version 3.2 およびそれ以前のために \) パフォーマンスモニタを設定し、使用して下さい \( Cisco CallManagerバージョン 4.0 および それ以降のために \) Cisco CallManager Version 3.2 およびそれ以前のための Cisco AST が付いている MGCP ゲートウェイを監視して下さいCisco CallManager バージョン 3.3 およびそれ以降のための Cisco Unified CallManager サービスビリティ 実時間監視 ツールの MGCP ゲートウェイを監視して下さい](#)
- [タスク 2: MGCP ゲートウェイのリセット](#)
- [タスク 3: MGCP ゲートウェイを削除して下さい](#)

## タスク 1: MGCP ゲートウェイを監視して下さい

### [パフォーマンスモニタを設定し、使用して下さい \( Cisco CallManager Version 3.2 およびそれ以前のために \)](#)

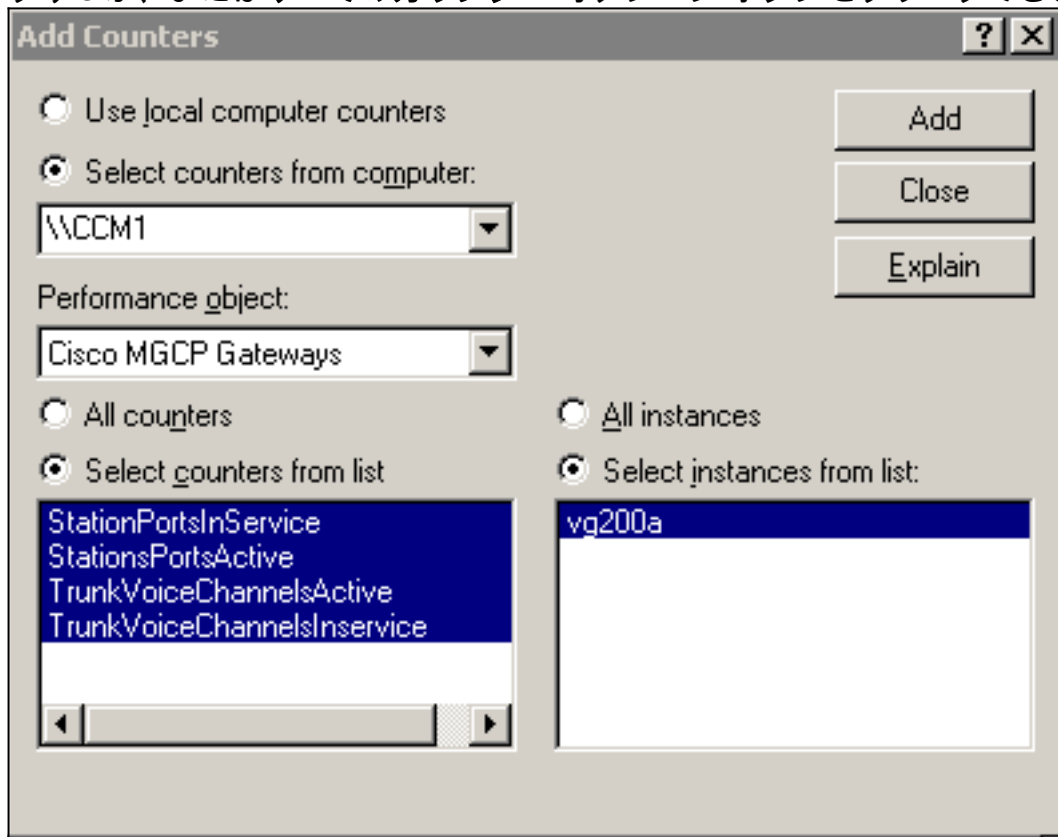
このタスクでは、Cisco CallManager サーバの MGCP ゲートウェイコンフィギュレーションの現在のステータスで報告するために PM を設定します。PM は MGCP ゲートウェイが設定したおよびポートの状態を示しますことポート。

1. PM を開いて下さい。

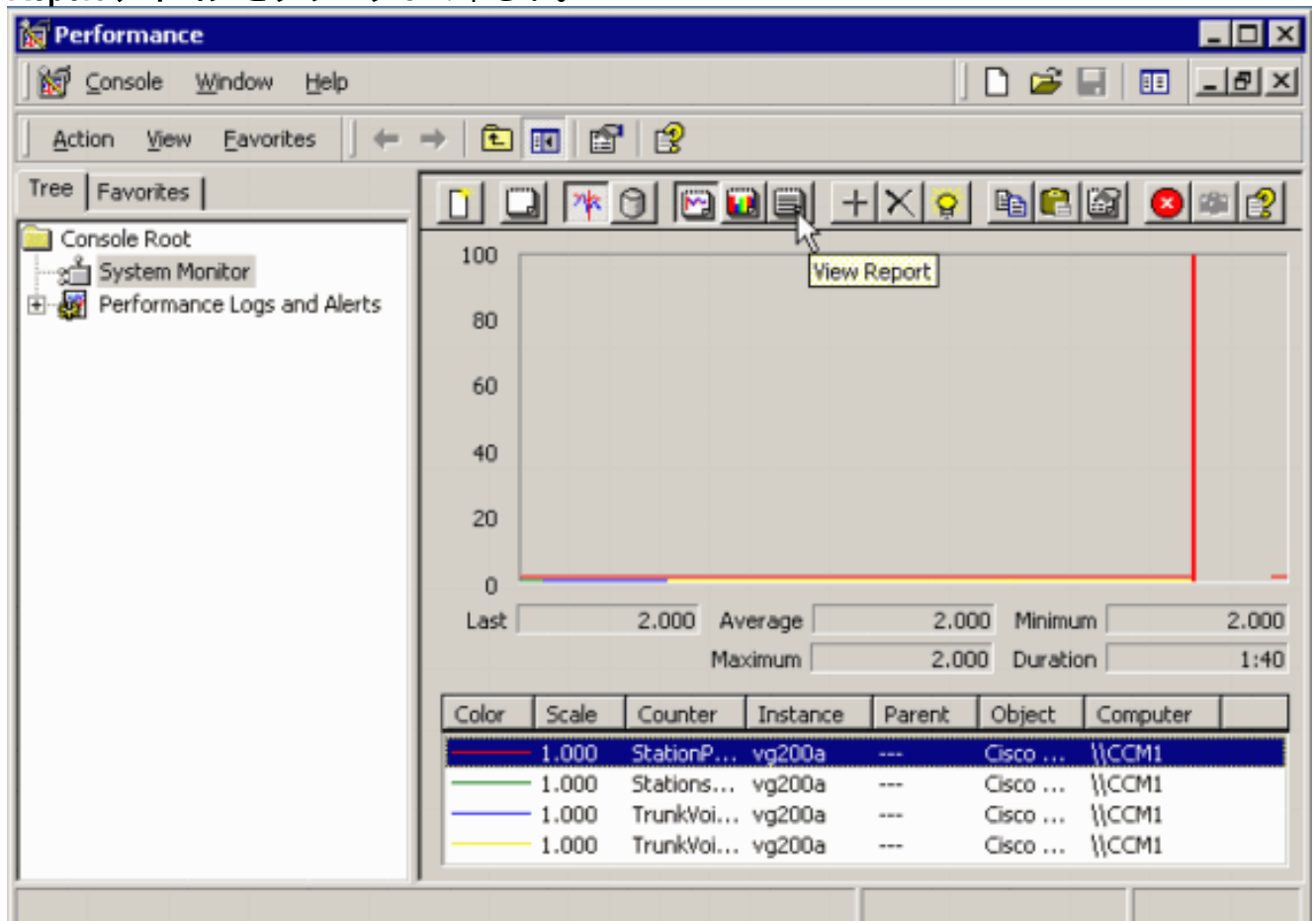


2. 『Add Counters』 を選択 して下さい。
3. Performance Object メニューから、すべてのカウンターを『Cisco MGCP Gateways』 を選択し、選択して下さい。すべてのカウンターを選択するために、それらをそれぞれクリッ

クするか、またはすべてのカウンター オプション ボタンをクリックできます。

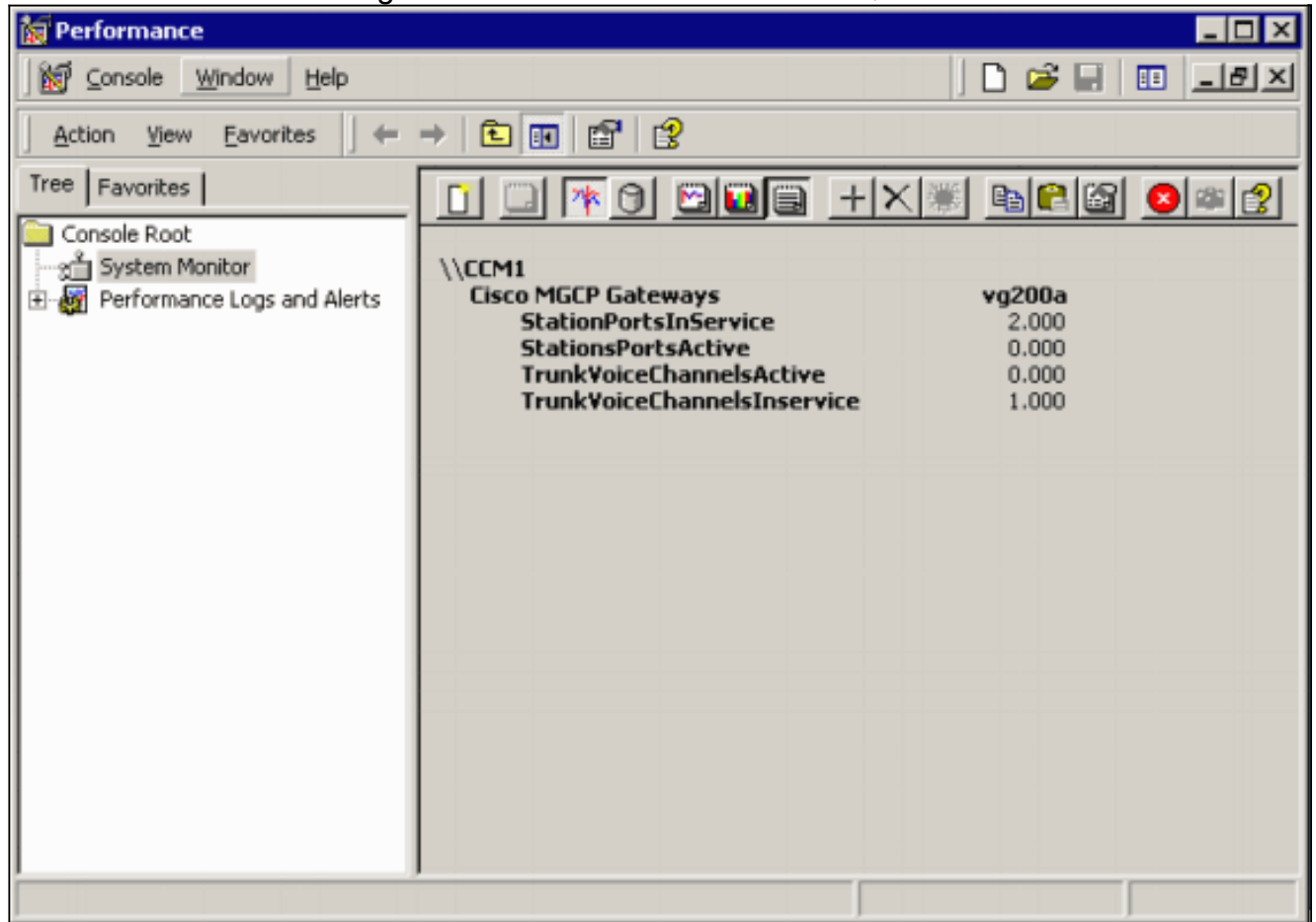


- 『Add』 をクリックし、『Close』 をクリックして下さい。
- レポート モードに切り替えて下さい。モードを報告するために切り替えるために **View Report アイコン** をクリックして下さい。



- 設定されたデバイスが現われることを確認して下さい。この設定では、2 FXS (ステーション) ポート稼働中および 1 FXO (トランク) チャネル稼働中を探して下さい。この例の

レポートはこれらのデバイスを確認します。2 StationPortsInService および 1 TrunkVoiceChannelsInService あります。これらは名前 vg200a で MGCP ゲートウェイのための Cisco Unified CallManager で設定した MGCP メンバーです。



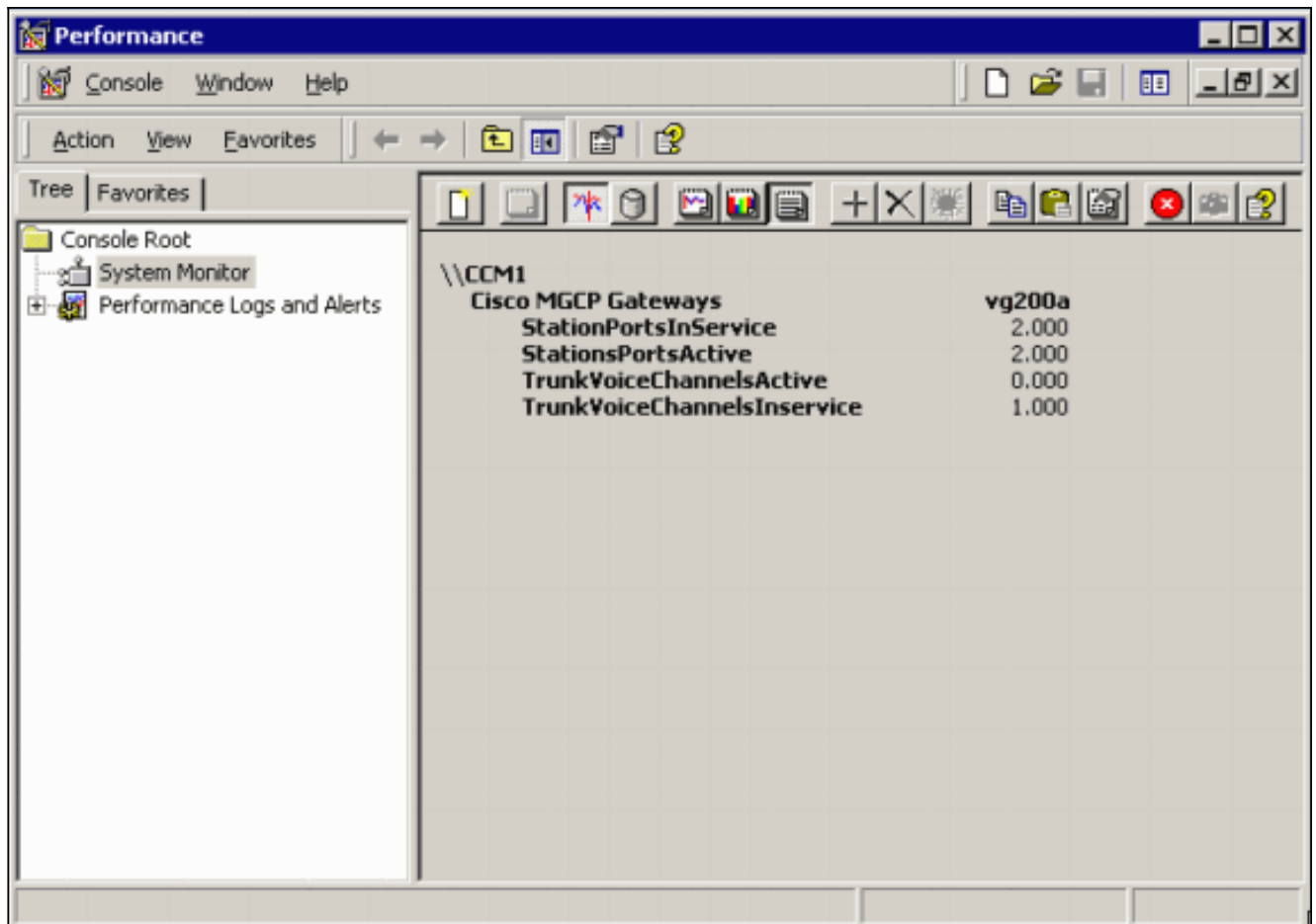
The screenshot shows a 'Performance' window with a tree view on the left and a main display area on the right. The tree view shows 'Console Root', 'System Monitor', and 'Performance Logs and Alerts'. The main display area shows the following data:

\\CCM1	
Cisco MGCP Gateways	vg200a
StationPortsInService	2.000
StationsPortsActive	0.000
TrunkVoiceChannelsActive	0.000
TrunkVoiceChannelsInService	1.000

設定したメンバーがレポートに現われない場合、正しいゲートウェイを選択したこと確かめて下さい。正しい MGCP ゲートウェイを選択した場合、[2 に任せることを続行して下さい](#)：[MGCP ゲートウェイをリセットして下さい](#)。

7. FXS 1/1/0 から 1/1/1 にコールを作ってください。このウィンドウで、予期された動作であるステーションポートが両方ともアクティブであることがわかります、

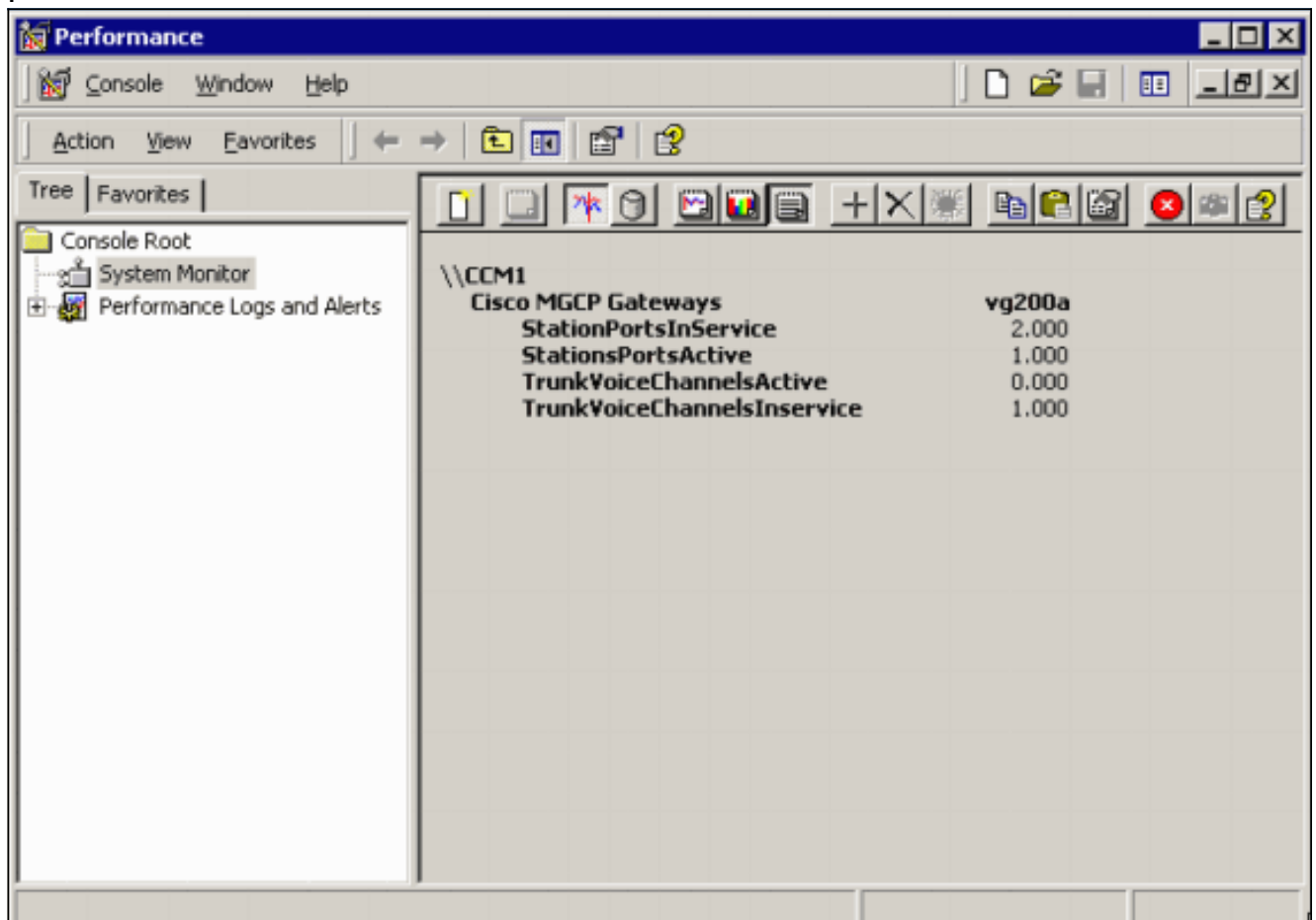
:



8. IP Phone から FXS ポート 1/1/0 にコールを作ってください。この画面では、予期された動作である 1 つのステーションポートだけアクティブであることがわかります。 1

StationsPortsActive あります

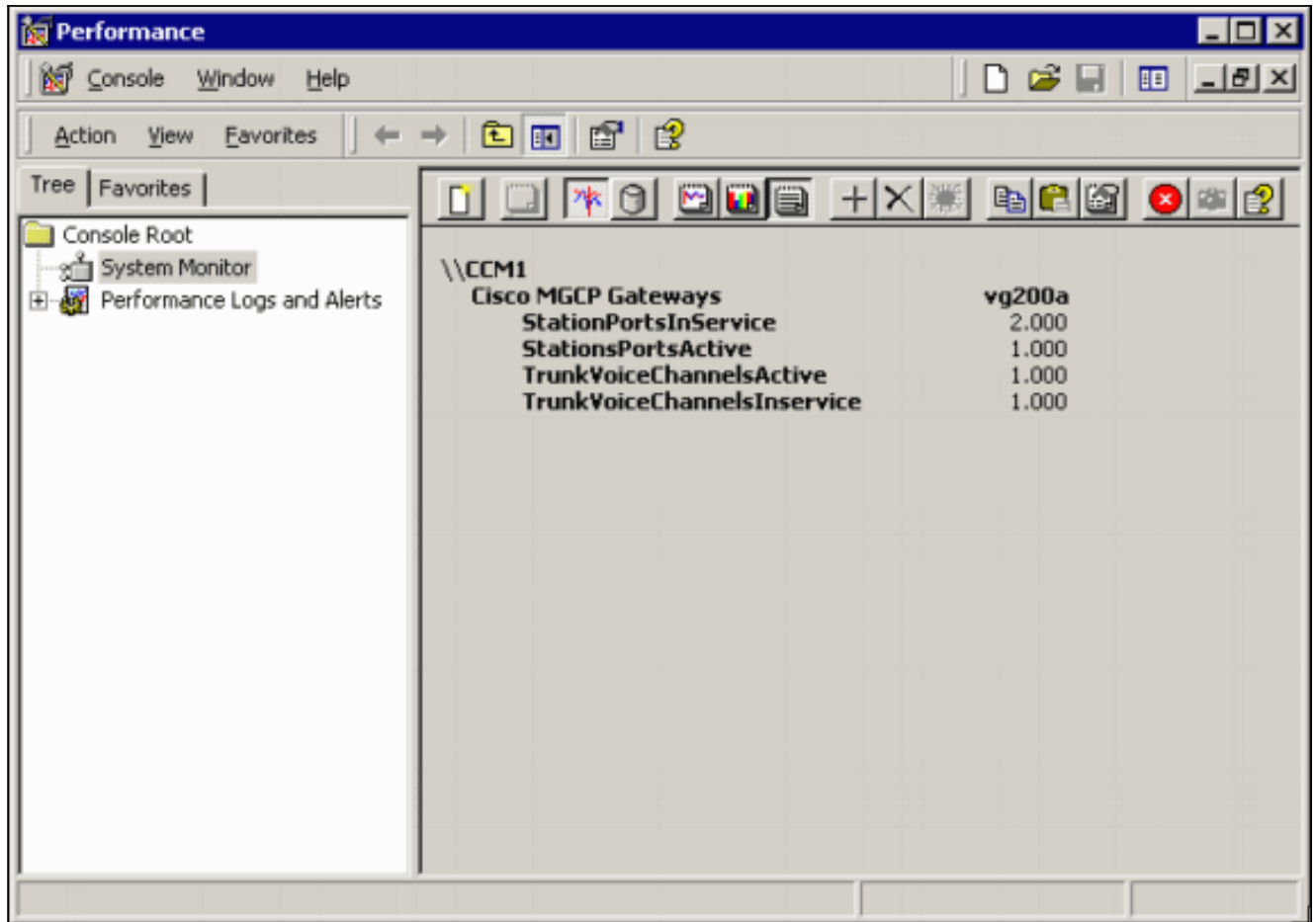
:



9. FXS 1/1/0 から Public Switched Telephone Network ( PSTN ) の使用の外部行にコールを作  
って下さい。このウィンドウで、1つのステーションポートがアクティブであり、予期され  
た動作である 1 トランク ポートがアクティブであることがわかります。 1

StationsPortsActive および 1 TrunkVoiceChannelsActive あります

:

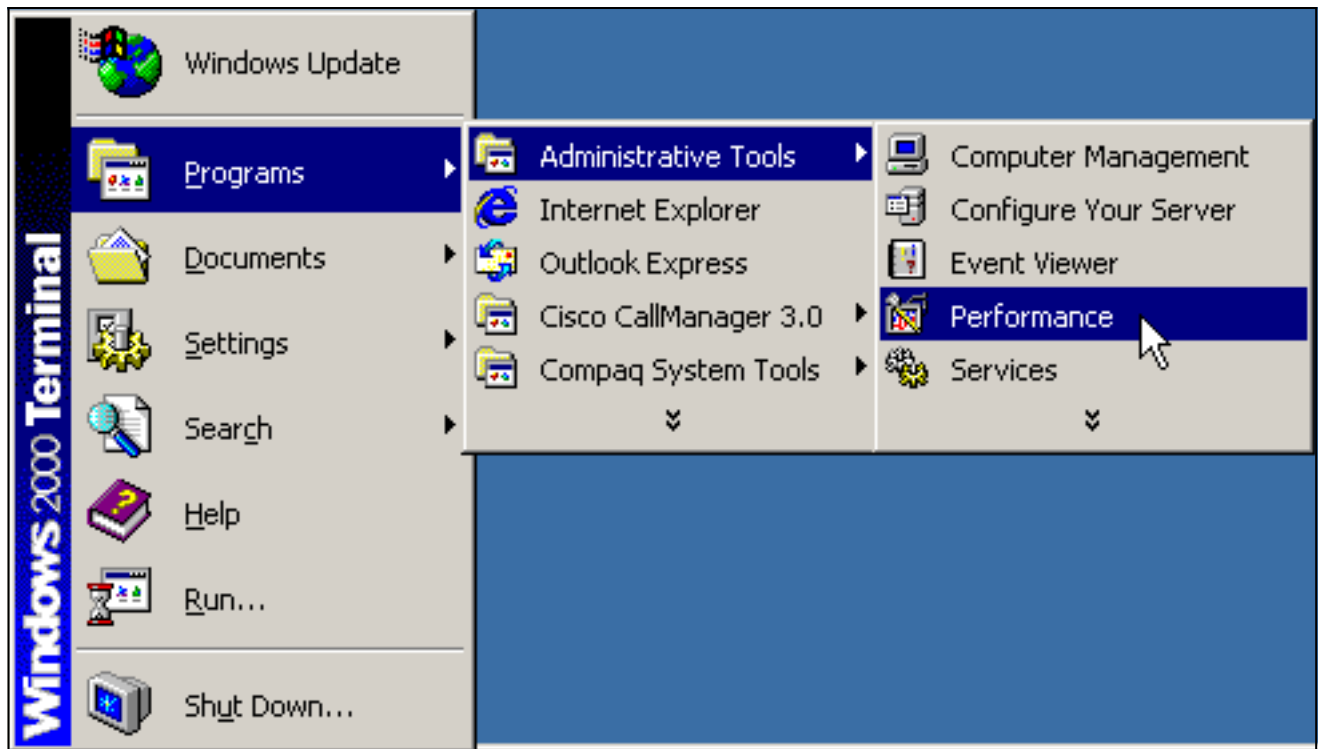


今 PM のセットアップを完了しました。今設定をトラブルシューティングするために PM  
を使用し始めることができます。場合によっては信じることに、レポートは場合があります  
すべてのステーションを示さないためにまたは MGCP メンバーは、設定しました。この失敗  
が発生する場合、MGCP ゲートウェイをリセットすることを試みて下さい。ゲートウェイ  
をリセットするために、[タスク 2](#) のステップを完了して下さい: [MGCP ゲートウェイをリセ  
ットして下さい](#)。

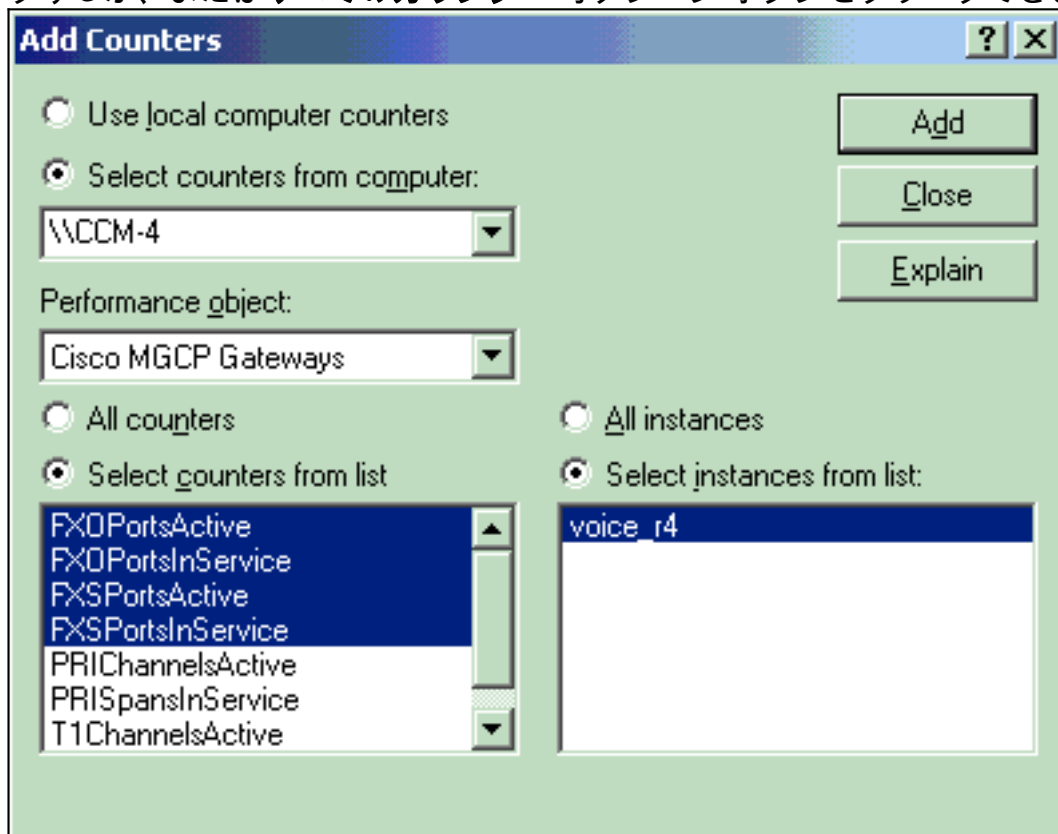
## [パフォーマンスモニタを設定し、使用して下さい \( Cisco CallManagerバージョン 4.0 および それ以降のために \)](#)

このタスクでは、Cisco CallManager サーバの MGCP ゲートウェイコンフィギュレーションの現  
在のステータスで報告するために PM を設定します。PM は MGCP ゲートウェイが設定したお  
よびポートの状態を示しますことポート。

1. PM を開いて下さい。

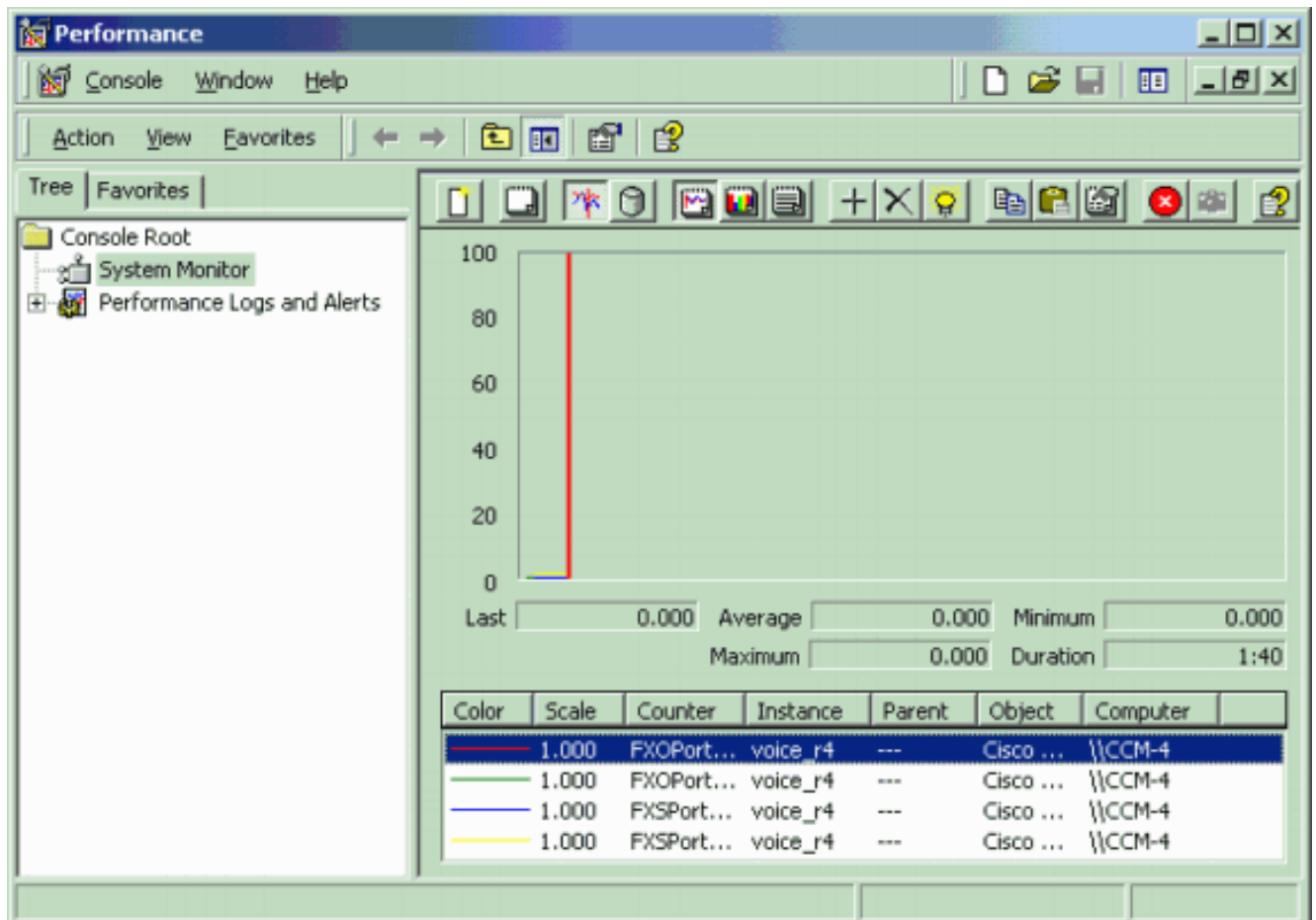


2. 『Add Counters』 を選択して下さい。
3. Performance Object メニューから、すべてのカウンターを『Cisco MGCP Gateways』を選択し、選択して下さい。すべてのカウンターを選択するために、それらをそれぞれクリックするか、またはすべてのカウンター オプション ボタンをクリックできます。

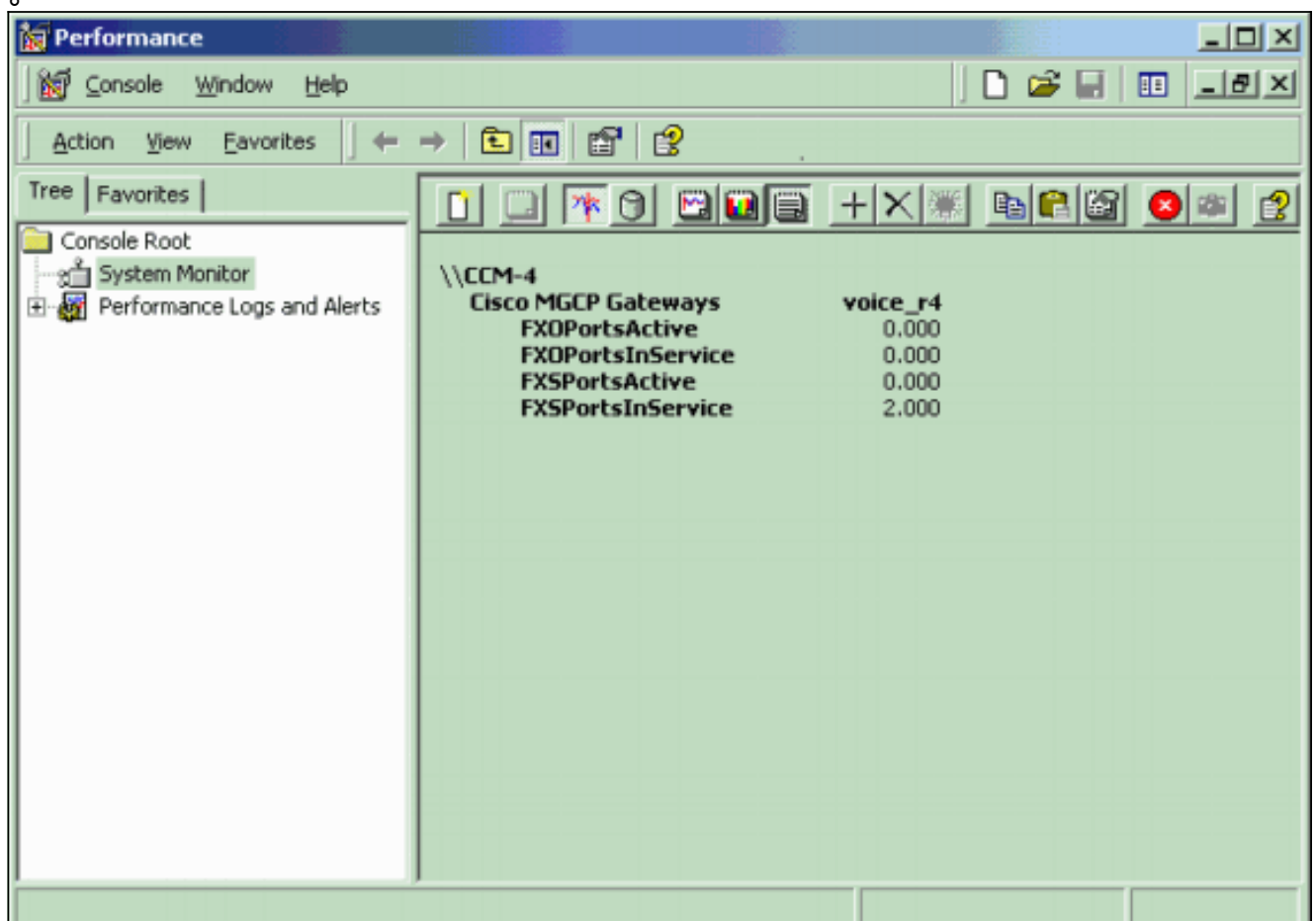


4. 『Add』 をクリックし、『Close』 をクリックして下さい。
5. レポート モードに切り替えて下さい。モードを報告するために切り替えるために View Report アイコンをクリックして下さい。



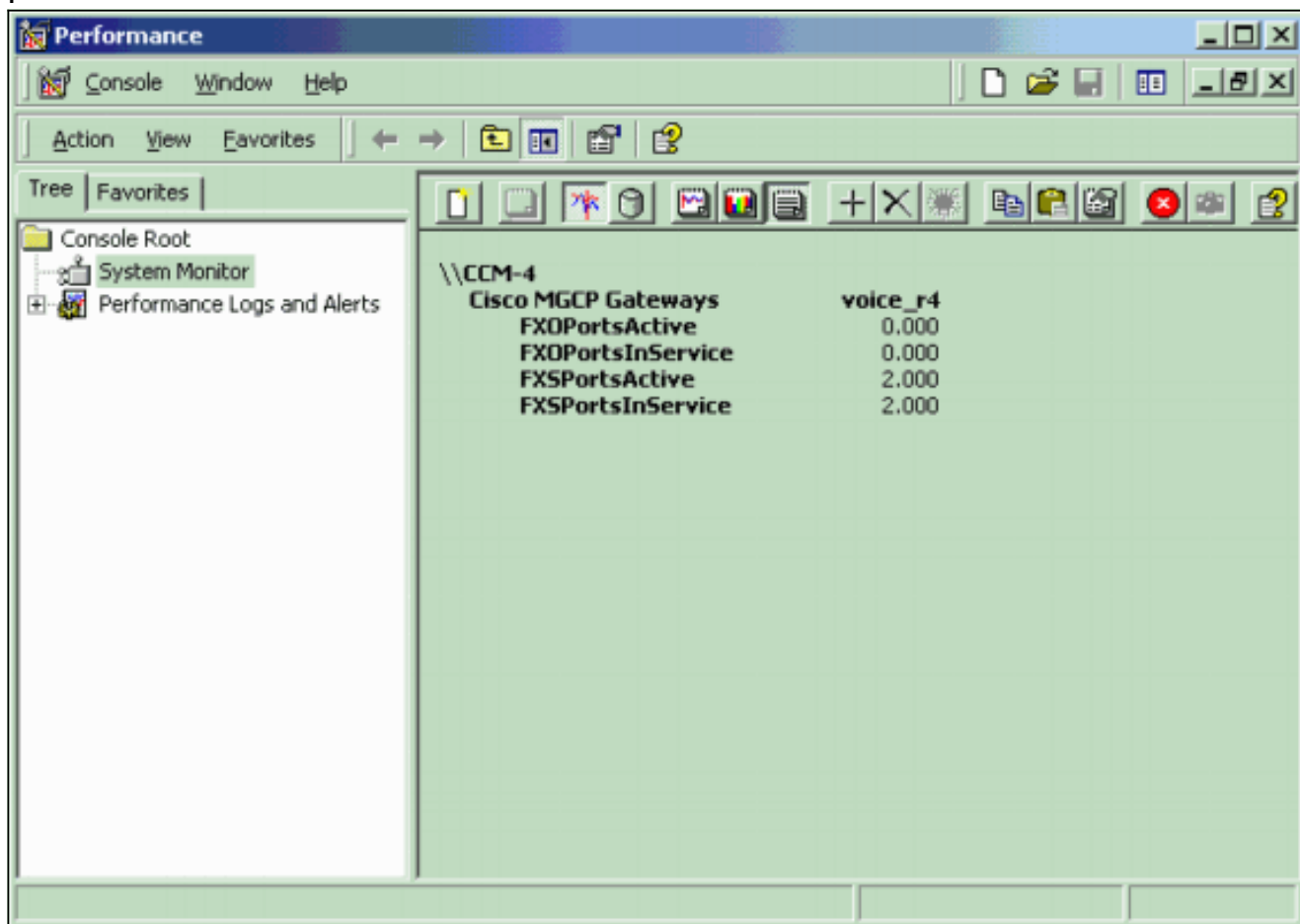


6. 設定されたデバイスが現われることを確認して下さい。この設定では、2 FXS (ステーション) ポート稼働中があります。2 つ FXSPortsInService 見ます。これらは名前 voice\_r4 で MGCP ゲートウェイのための Cisco Unified CallManager で設定される MGCP メンバーです。



設定したメンバーがレポートに現われない場合、正しいゲートウェイを選択したこと確かめて下さい。正しい MGCP ゲートウェイを選択した場合、[2 に任せることを続行して下さい](#)。  
[MGCP ゲートウェイをリセットして下さい](#)。

7. FXS 1/1/0 から 1/1/1 にコールを作して下さい。このウィンドウで、予期された動作であるステーションポートが両方ともアクティブであることがわかります、



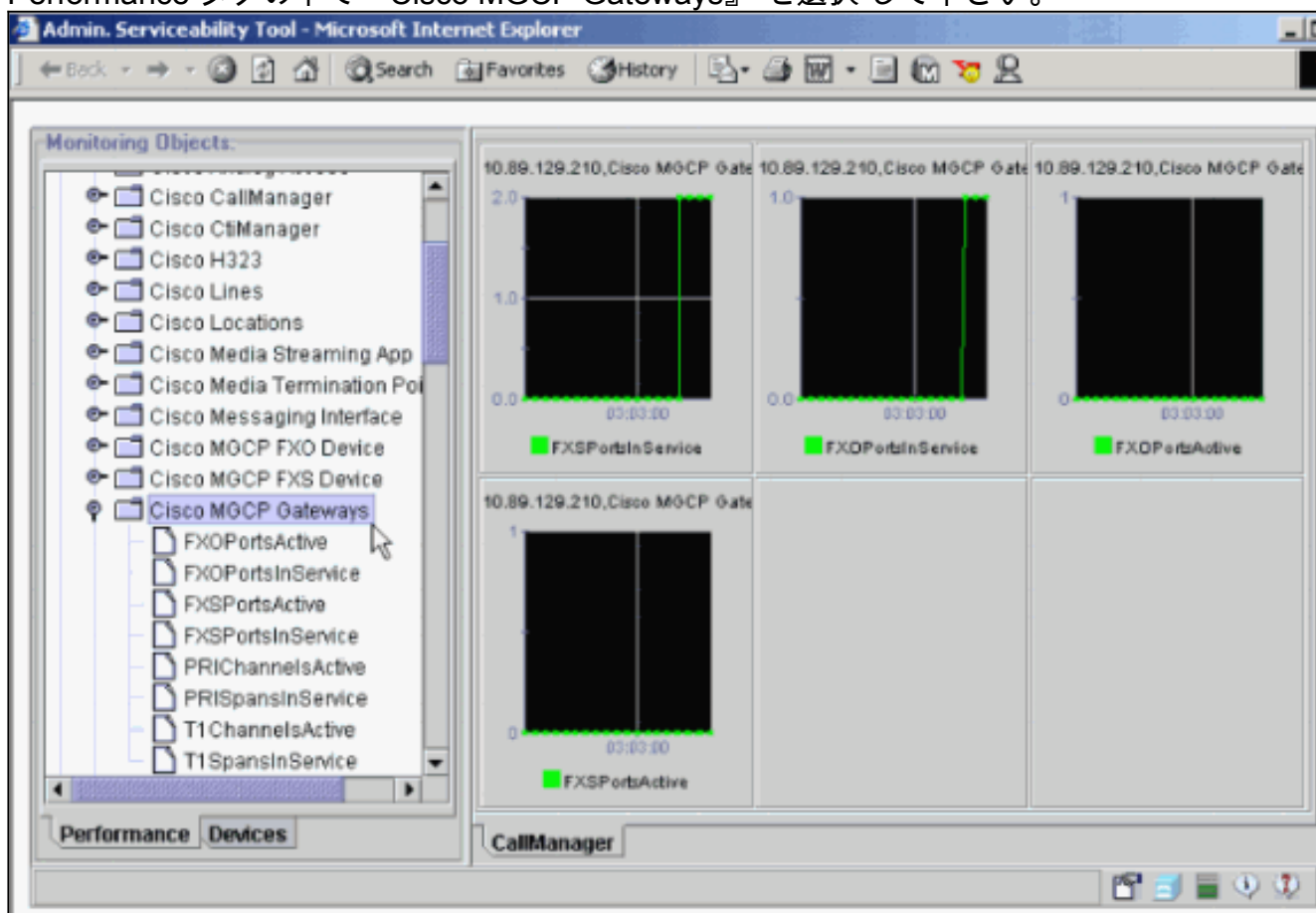
### [Cisco AST が付いている MGCP ゲートウェイを監視して下さい](#)

またこれらの変数を監察するために Cisco AST を使用できます。このセクションはプロシージャを提供します:

1. このウィンドウが表示するように、Tools > Admin Serviceability Tool の順に選択して下さい  
:



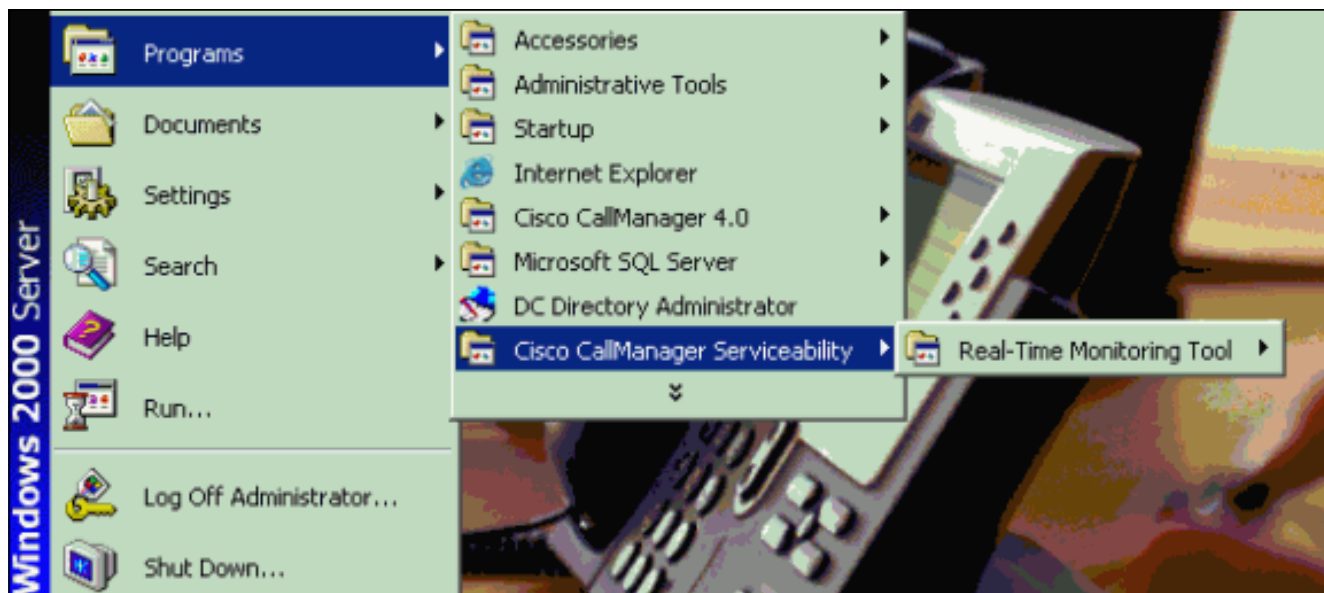
2. Performance タブの下で『Cisco MGCP Gateways』を選択して下さい。



## [Cisco Unified CallManager サービスリテリ 実時間監視 ツールの MGCP ゲートウェイを監視して下さい](#)

変数を監察するために Cisco Unified CallManager サービスリテリ 実時間監視 ツール (RTMT) を使用できます。このセクションはプロシージャを提供します:

1. RTMT を開いて下さい。



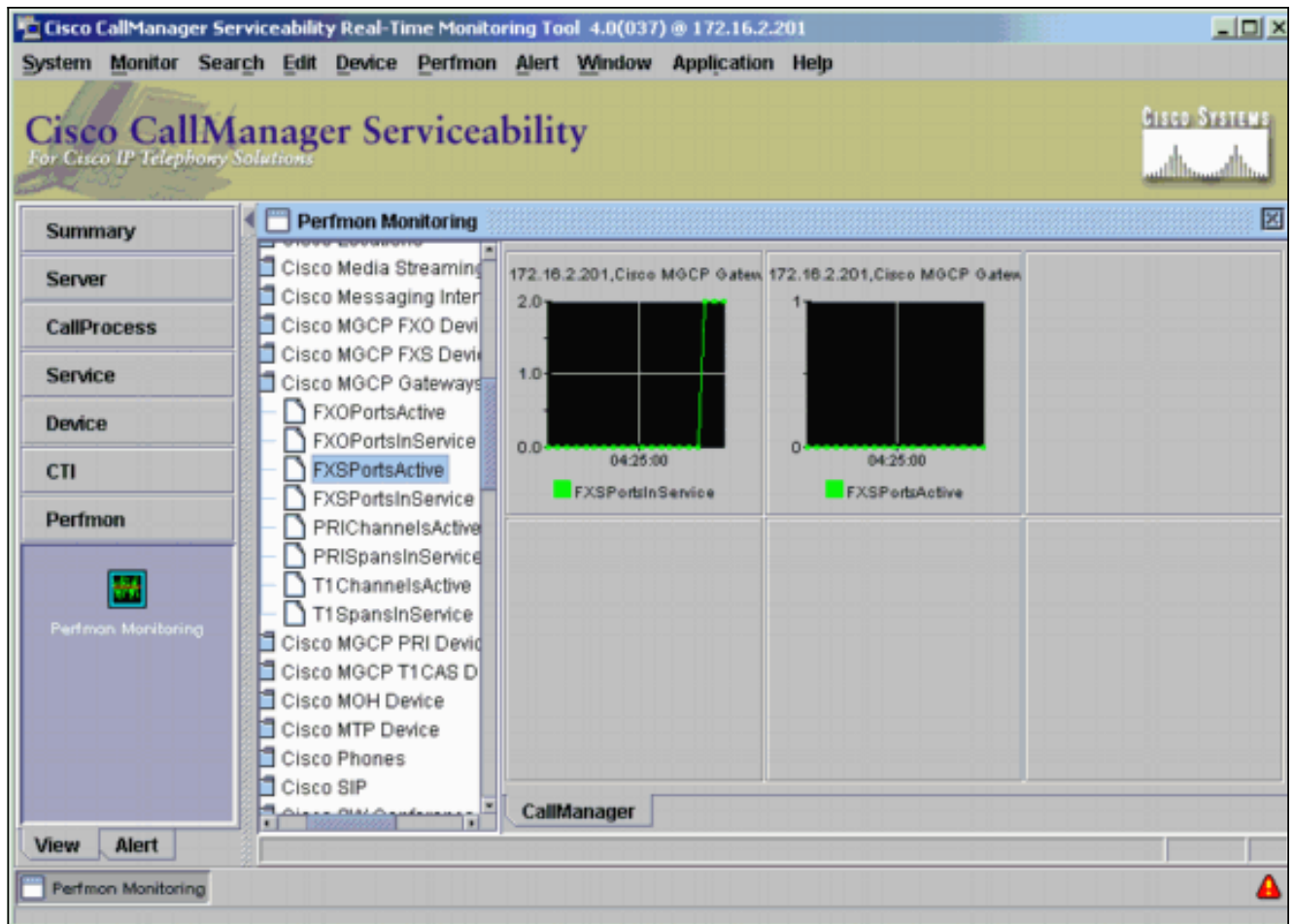
**Login Window** [X]

Host IP Address:  Port:

User Name:

Password:

2. ツールへのログイン。
3. Perfmon > Open Perfmon Monitoring の順に選択して下さい。
4. 監視したいと思う変数を『Cisco MGCP Gateways』を選択し、選択して下さい。



## タスク 2： MGCP ゲートウェイのリセット

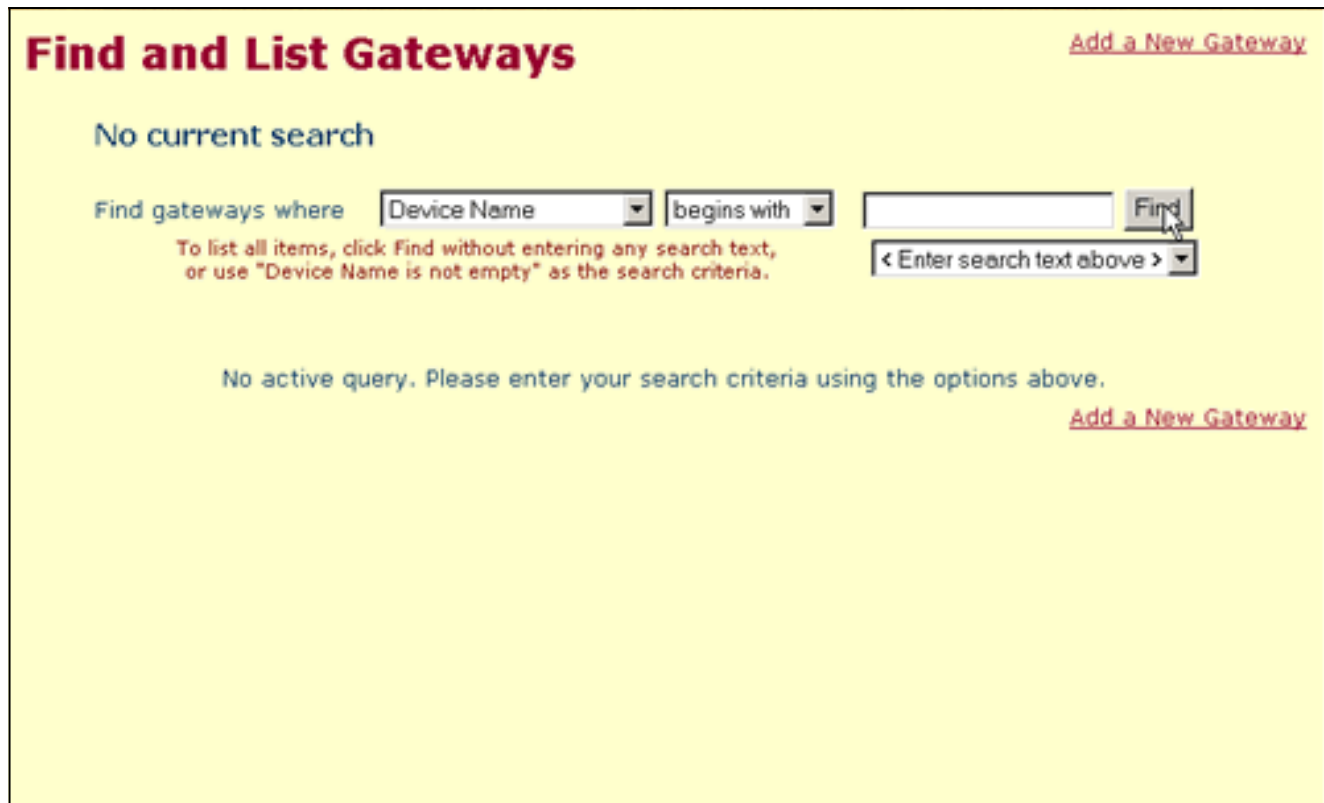
MGCP ゲートウェイで設定したメンバーが PM に現われなかった場合、MGCP ゲートウェイをリセットすることを試みて下さい。このセクションのステップを完了し、次に[タスク 1](#)を繰り返して下さい：[MGCP ゲートウェイを監視して下さい](#)。

1. Device > Gateway の順に選択して下さい。



これに類似したであるウィンドウを見ます

:



2. [Find] をクリックします。これに類似したであるウィンドウを見ます



3. 作成したゲートウェイを選択して下さい。この場合、ゲートウェイは VG200A です。注意：このウィンドウの Reset オプションは Cisco Unified CallManager のバージョンではたつきません。Reset オプションがはたらかない場合、ステップ 4 のウィンドウが表示する Reset Gateway オプションを使用して下さい。

4. [Reset Gateway] をクリックします。

## MGCP Configuration

[Back to Find/List Gateways](#)

**MGCP: VG200A**

Status: Ready

MGCP Domain Name\*

Description

Installed Voice Interface Cards	Endpoint Identifiers
Module in Slot 1 <input type="text" value="NM-2V"/>	
VIC in Sub-Unit 0 <input type="text" value="VIC-2FXO"/>	(1/0/0)  (1/0/1)
VIC in Sub-Unit 1 <input type="text" value="VIC-2FXS"/>	(1/1/0)  (1/1/1)

\* indicates required item

[Back to Find/List Gateways](#)

注: このウィンドウは VG200 の FXO ポート 1/0/1 が設定されたことを表示します。システムにこの設定が別のトピックのドキュメントを作成するためにあります。しかしこの資料はこのポートを使用しません。

5. 『Reset Gateway』を選択して下さい。

## Reset Device

**Selected Device: VG200A (VG200A)**

To restart a device without shutting it down, click the **Restart** button. To shut down a device and bring it back up, click the **Reset** button. Click **Close** to return to the previous window without resetting/restarting the device.

**Note:**

Restarting or resetting a gateway drops any calls in progress using that gateway. Other devices wait until calls are complete before restarting or resetting.

6. [Reset] をクリックします。
7. [1 に任せるために戻して下さい](#): ステップを再度完了するために [MGCP ゲートウェイを監視して下さい](#)。タスク 1 の完了とそれでも不成功である場合、資料 [Cisco IOS MGCP ゲートウェイの検証およびトラブルシューティング](#)を参照して下さい。MGCP ゲートウェイコンフィギュレーションが正しいようである場合 [3 に任せることを](#)続行して下さい: [MGCP ゲートウェイを削除して下さい](#)。

## タスク 3 : MGCP ゲートウェイを削除して下さい

場合によっては MGCP ゲートウェイコンフィギュレーションを確認した後、PM はまだ場合があります設定した MGCP メンバーを表示するために。全体の MGCP ゲートウェイを削除し、作り

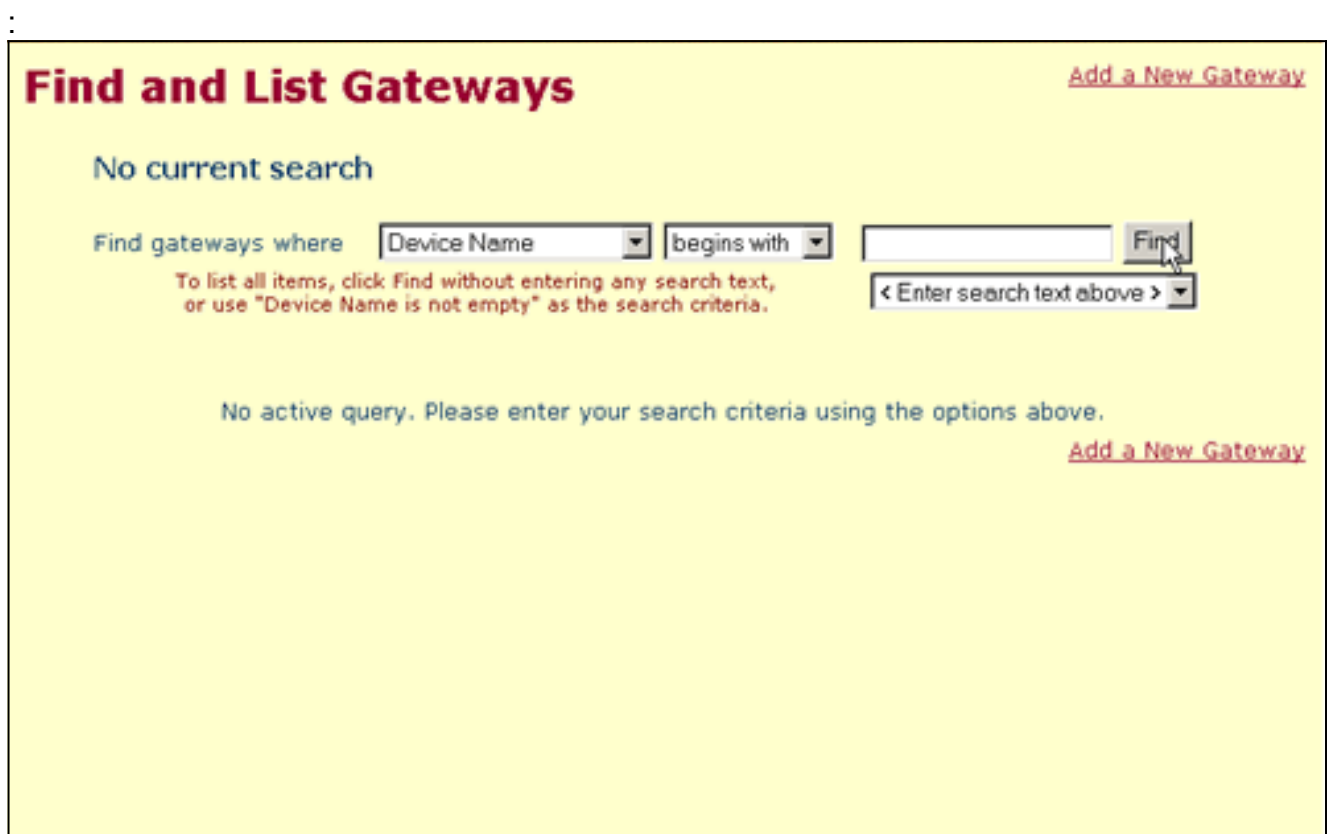
直して下さい。この操作は問題を解決します。

**注意：** このステップをキャンセルすることができません。MGCP ゲートウェイを削除する前に、ゲートウェイを作り直すのに必要なすべての情報があることを確かめて下さい。最終的な解決策としてだけタスク 3 を使用して下さい。

1. Device > Gateway の順に選択して下さい。



これに類似したであるウィンドウを見ます



2. [Find] をクリックします。これに類似したであるウィンドウを見ます

:




## Find and List Gateways [Add a New Gateway](#)

2 matching record(s) for Device Name begins with ""

Find gateways where  begins with

To list all items, click Find without entering any search text, or use "Device Name is not empty" as the search criteria.

Matching record(s) 1 to 2 of 2

Device Name	Description	Device Pool	Delete	Reset
 172.16.1.205	2651 Router	Default		
 VG200A	VG200A			

First Previous Next Last Page  of 1

[Add a New Gateway](#)

3. 作成したゲートウェイを選択して下さい。この場合、ゲートウェイは VG200A です。これに類似したであるウィンドウを見ます





## MGCP Configuration [Back to Find/List Gateways](#)

MGCP: VG200A

Status: Ready

MGCP Domain Name\*

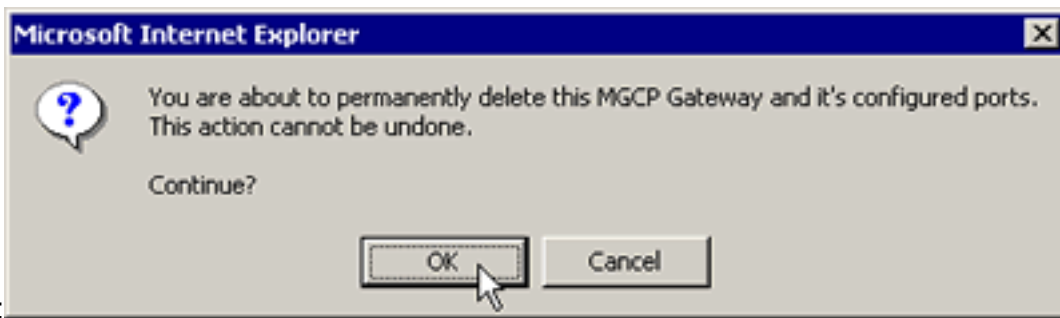
Description

Installed Voice Interface Cards	Endpoint Identifiers
Module in Slot 1 <input type="text" value="NM-2V"/>	
VIC in Sub-Unit 0	<input type="text" value="VIC-2FXO"/> (1/0/0)  (1/0/1) 
VIC in Sub-Unit 1	<input type="text" value="VIC-2FXS"/> (1/1/0)  (1/1/1) 

\* indicates required item

[Back to Find/List Gateways](#)

4. [Delete] をクリックします。このダイアログボックスを見ます



5. [OK] をクリックします。
6. MGCP ゲートウェイを作成するのに必要なステップを繰り返して下さい。

## 関連情報

- [デジタル PRI および Cisco CallManager での MGCP の設定方法](#)
- [Cisco IOS MGCP ゲートウェイの検証およびトラブルシューティング](#)
- [MGCP と Cisco CallManager とのインタラクションについて](#)
- [MGCP でのフックフラッシュの転送](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)